

沖縄カトリック中学高等学校
学校通信

野ばら 2月号

発行
沖縄カトリック中学高等学校
〒901-2215
宜野湾市真栄原3-16-1
TEL 098-897-3300
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>
2021年1月29日(金)

その時を待てるか

校長 夏見隆晴

私達人間は、「誰もが時の中で生きている」と言う事が出来ます。何か予期せぬことに遭遇すると、「時を間違えたのか?」とか、「今は未だその時で無かったようだ」とか呟いて、次の機会を待つ、と言ったような行動に出るのは、ごく普通の事です。しかし、その様なごく普通の事が、思わぬところで狂ってしまう、というのも結構あるのです。わたし自身も、どちらかと言うと「慌て者」に分類される方の人間であり、未だに、いろいろと失敗を重ねております。本当にどうすれば良いのかと、困惑することが多いのです。

慌て者で良く考えずに、先ずは行動にと走ってしまう私は、失敗も多く始終「しまった」と、心の中で呟いております。勿論、私の失敗のために周囲の人達に迷惑をかけた場合は、素直に、そして直ぐ謝るということを心がけているつもりですが、それでも多くの人に迷惑を掛けているものと、私の神様に「赦して下さい」と祈りを捧げることにしています。本当は、当の相手に言葉で「すみませんでした」と謝る事が出来れば、それが一番良い方法ではあるのですが、なかなか実行に至らないのが悩みの種です。

人間は、歳を重ねることによって聡明になれるかもしれない、と若い時から考え、自分自身をも激励してまいりましたが、現実はそのほど甘いものでは無かったようです。しかし、命は神様が与えて下さっているものですから、これは私がどのようにでも出来るか、というと、そうはまいりません。私の場合、中学生の時に既に人の生死に出会うという事がありました。同級生の一人が神様の下に召されたのでした。普段から良く勉強をする同じクラスの人でした。「神様に召された」という言葉を、現実として受け取ったのです。

今になって、自己の中高生時代を振り返ってみて、あの時にもっと勉強をしていれば良かった、という思いも勿論ありますが、私の中高生時代も、それはそれで良かったと思っております。あの時代の勉強の仕方には、当然、もっと真剣に取り組むべきであったと、反省するところも多いのですが、私達の神様は、本当に一人一人を差別することなく、その子らしく、導いてくださっているのだと考えるようになりました。それは、生徒達が中高生になって、自己と言うものをより深く理解できるようになっているからでしょう。

親にとって、我が子といえども、いや我が子であるだけに、一人の人間として相手を客観的に観る事は、困難な事であろうと思われれます。「あの子は、何を考えているのでしょうか」という質問を受けることもあります。人は皆違って良いのです。いや、違うからこそ魅力的なのです。いや、我が子が親の自分と違っていただけからこそ、もっと魅力的に見えるのかも知れません。長い教員生活を続けてまいりましたが、時を置いて会う卒業生は、例外なく皆が立派なのです。神様がこの子をこの親に授けた、結果なのでしょう。

タンポポ

理科 知念 和代

春になるとあちこちで咲き始めるタンポポは、日本の野草の代表ともいえます。誰もが一度は子供のころに、綿毛を飛ばして遊んだことがあるのではないのでしょうか？私も夢中になっていた一人です。私は、子供のころからタンポポに心惹かれ、その姿に尊敬すら感じていました。今でも理科の観察授業のために、春には、帰宅時、遠回りをしながら、道端や公園に咲いているタンポポを探し回ります。ここ数年は、お気に入りの公園でとっておきの場所を見つけました。毎年、清掃のために何度も刈り取られ、時には、根っこごと引き抜かれてしまうことも有りますが、春になると、新しい姿を現してくれます。私がこの小さな植物に感心するのは、与えられた場所で生き抜こうとする意志の強さと忍耐力です。

鉢の中の花々は、咲くまでにいろいろな世話してもらいますが、野のタンポポは自分自身で成長し、多少不格好でも、何度も何度も黄色の花を咲かせるのです。その花びら一輪一輪がタンポポの花で、その集合体を私たちは見えています。タンポポは、仲間と一緒に成長し、次の場所を求めて、それぞれが綿毛となって、飛び立っていきます。その様子から、タンポポの花言葉には、『真心の愛』と『離別』が含まれています。助け合いながら成長し、いずれそれぞれの場所をさがし、卒業していくのです。そして、残された根は、土深くにしっかり根付き、翌年の春に花を咲かせるための準備を始めるのです。

学校生活の中で、たくさんの生徒たちと出会い共に学んでいく中で、生徒たちが与えられた環境の中で腰を据えてじっくり成長し、それぞれが目標を持ち、仲間として受け止め互いに支え合いながら成長できる集団になってほしいと思っています。教師として私ができることは、根のようにしっかり支え知恵や知識を与え続け、鰐（がく）のように生徒たち一人ひとりをつなぎ、いい集団になれるように努力することです。卒業の日に、生徒たちが
勇気と自信をもって巣立っていく姿が楽しみです。

『散ってすがれたたんぽぽの、瓦のすきに、だままって、春のくるまでかくれてる、
つよいその根は眼に見えぬ。見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。』
(星とたんぽぽ：金子みすず)

誰に言われたでもなく、誰かのためにでもなく、タンポポはタンポポであるがゆえに咲く。自分がタンポポであることを大切にしているのでしょうか。私たちも、見えなくても確かにあるそれぞれの強い思いを大切に、しっかり育っていきましょう。





2月の行事

3日(水)	職員会議 (16時20分 完全下校) スクールカウンセラー来校日
6日(土)	中学後期入試 (家庭学習日)
8日(月)	高2：大学入学共通テスト早期対策模試
10日(水)	午前：授業／午後：予餞会 スクールカウンセラー来校日
11日(木)	建国記念の日
12日(金)	高3：卒業式予行 (午前) 中1～高2： スタディサブリ到達度テスト (午前) →給食・弁当なしで下校 数検 (放課後・希望者) スクールカウンセラー来校日
13日(土)	卒業式 (家庭学習日)
19日(金)	スクールカウンセラー来校日
20日(土)	総合/PUP®/学校見学会⑤/入学手続き
22日(月)、 24日(水)～26日(金)	第5回定期試験
25日(木)	スクールカウンセラー来校日

2021年度沖縄カトリック中学高等学校生徒会役員を紹介します

<高校>

会長 清水 謙臣
副会長 ラザフォード クリスティ 雛子
書記 森根 太陽
会計 柴 宥貴子

<中学>

副会長 平川 慧
書記 米須 清信
会計 寄川 紅葉

任期：2021年2月1日～2022年1月31日

2020年度の生徒会役員のみなさん、
今までありがとうございました。



小羊くん



ハトリック

生徒の頑張り！

★第43回沖縄青少年科学作品展

高1 河野 瑠導 「汎用浅深度自律型水中探査機の研究と開発」 入選

★令和2年度 沖縄県高等学校野球連盟 優秀部員賞

高3 秦 逸文

★第41回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール（文部科学省・経済産業省後援）

*小物・インテリア作品部門

最優秀賞・経済産業大臣賞

高1 田場 旭 （テーブルクロス・ティーコゼー）

優秀賞 高2 盛山 優音 （幼児のプレイマット・敷物セット・知育カード・トートバッグ）

中2 桃原 あき （ピアノカバー・椅子カバー・メトロノームカバー）

佳作賞 高2 今井 麗 （ラグマット）

中2 今井 李 （ベッドカバー）

中3 佐藤 りいら （フォトフレーム）

*衣服作品部門

優秀賞 中3 畑 愛理 （ワンピース）

佳作賞 中3 シンクレア フィオナ （ワンピース）

2020年度卒業証書授与式についてのお知らせ

2月13日（土）に挙行される、卒業証書授与式は新型コロナウイルス対策として、卒業生及び卒業生保護者のみで実施されます。

当日、在校生は家庭学習日となり、校内への立ち入りは禁止されます。感染症防止のためにもご理解とご協力をお願い致します。

※写真撮影やプレゼント受け渡しもできませんのでご了承ください。

